

市民病院だより

骨粗しょう症と骨密度検査

診療放射線技師 津田 増夫

骨粗しょう症を発症すると、背中や腰が丸く曲がり、重苦しさや痛みを感じる、身長が縮むなどの症状が出てきます。腰を痛めてレントゲンを撮ったら、圧迫骨折していた」というのはよく見る光景です。

しかし、骨折といってもポキッと折れるわけではなく、徐々に潰れていくのでそれほど痛みを感じず我慢してしまう人が多くいます。

テレビでも、いつの間にか骨折」というCMを目にしたことがあるかと思いますが、これを放っておくとカルシウム不足で骨がスカスカになり、転倒しただけでも、股関節や、手首の骨が折れやすくなる病気で

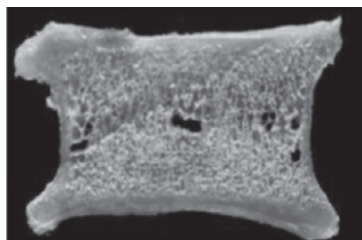
特に女性に多く、50歳代から急激に増え始めます。70歳以上

になると女性8割、男性2割と男性も骨粗しょう症を発症しやすくなります。女性に多いのは、閉経期以降女性ホルモンが急激に減少するため、この女性ホルモン（エストロゲン）は、骨が壊されるのを抑制する働きがあり、その作用が低下することが主な原因です。骨粗しょう症は、予備軍も含め1、200万人を超えていると言われています。

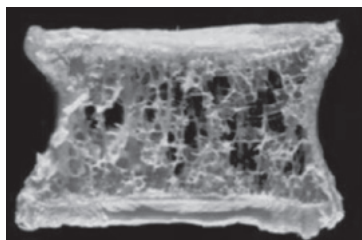
ところで、骨の新陳代謝は、5〜7年ですべて入れ替わります。これは、骨を造る骨芽細胞と、古くなった骨を壊す破骨細胞によるものです。適切な食生活や適度な運動を心掛けることで、骨芽細胞の働きが活発になりカルシウムなどを取り込み、修復も行われやすくなります。

また、骨がスカスカになる原因は他の病気も考えられますが、カルシウムが血管を介して

神経伝達のために使われたり、筋肉を動かしたりするのに必要でよく消費されるためです。最近では、薬物での治療方法もたくさんあり、症状に合わせて選択することが出来ます。骨量が減っていないかどうかは、骨密度を調べることができずに分かります。



健康な骨



骨粗しょう症の骨

※骨粗鬆症財団ホームページより

DXA法による基準値

	骨密度値	胸腰椎X線像
正常	YMA*の80%以上	脆弱性骨折なし
骨量減少	YMAの80~70%	脆弱性骨折疑いあり
骨粗しょう症	YMAの70%未満	脆弱性骨折あり

※ YMA：若年成人平均値（20〜44歳）（骨粗しょう症ガイドライン引用）



当院は骨密度測定を行っており、近隣の医療機関でも行っているところがあります。現在の自分の骨密度がどのくらいなのか、一度検査されることをお勧めします。

時間外受診について

急病などでの時間外受診の場合は、必ず電話で宿日直医師の担当診療科をお問い合わせください。専門外の疾病の場合は、診察できない場合がございますのでご了承ください。

【問合せ】 小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>